

6年間を見通した『聞く・話す』の系統表

学年	主な学習内容		話型	
	話す／聞く(受けて返す)	話し合う	話すこと	聞くこと
1年	<p>知らせたいことを話したり、聞いたりする 【ききたいな、ともだちのはなし】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝えたいことを決め、二、三文程度で話す。 聞き手の方を向いて話す。 話している友達を見て、終わりまで聞く。 聞き手は、質問をしたり、感想を言ったりする。 <p>考えながら聞く 【ともだちのこと、しらせよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の話は、次のことを考えながら聞く。 おもしろいところ 驚いたこと もっと知りたいこと 	<p>二人で話し合う 【これは、なんででしょう】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二人で考えを出し合い、問題にする物と、ヒントを出す順番を決める。 分からないことを訪ねたり、それに答えたりする。 やり取りを聞いて、問題の答えを考える。 	<p>相手を見ながら順序よく話す。</p> <p>声の大きさと速さに気を付ける。</p> <p>「はい～です(ます)。」 「～です。そのわけは、～。」 「～と同じです(違います)。そのわけ(理由)は、～。」 「〇〇さんにつけ足します。」</p>	<p>集中して聞く。</p> <p>大事なことや順序を考えて聞く。</p> <p>話の仲間入りをする。</p> <p>話し手を見ながら他のことをしないで聞く。</p> <p>「～に質問します。」 「聞き取れませんでした。もう一度言ってください。」</p>
2年	<p>大事なことを落とさずに、話したり聞いたりする 【ともだちをさがそう】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大事なことは何かを考えて話す。 聞くときは、大事なことを聞き落とさないように、メモを取る。 <p>質問をして、相手の考えを引き出す 【あったらいいな、こんなもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の考えを詳しく聞くために、大事なものは何かを考えて、質問する。 丁寧な言い方と、普通の言い方のどちらを使うとよいか、考える。 <p>対話の練習 道案内の仕方 【ことばで みちあんない】</p> <ul style="list-style-type: none"> 初めに、道案内する場所を言う。 通る道の順に説明する。 曲がるところや方向、目印になるものを、はっきりと言う。 <p>伝えたいことを決めて、発表する 【楽しかったよ、二年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 何について話すのかを考え、そのときのことを詳しく書き出す。 聞き取りやすい声の大きさや速さで話す。 	<p>考えを出し合い、話し合う 【そうだんにのってください】</p> <p>次のことに気を付けて話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いたいこと(話題)は何か。 友達の考えのよいところや、自分の考えと同じところと違うところはどこか。 	<p>丁寧な言い方と、ふつうの言い方のどちらをつかうとよいか、考える。</p> <p>「～したら、～と思ったからです。」 「～することができます。」 「～するといいと思います。～思ったからです。」</p>	<p>あいての考えをくわしく聞くために、大事なことはなにか考えて質問する。</p> <p>「どうして～と思ったのですか。」 「どんなことができますか。」 「～がしたいです。」 「～のわけを聞きたいです。どうしてかというところ・・・。」</p>
3年	<p>話を聞いて、質問する。 【もっと知りたい、友だちのこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話す人の方を見ながら聞く。 話の内容や、自分がしりたいことをはっきりさせる。 知りたいことについて、どのように質問するとよいかを考える。 <p>相手や目的を考え、理由を挙げて話す。 【わたしたちの学校じまん】</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞き手を見て、様子を確かめる。 声の調子や強弱などを工夫する。 	<p>話し合い方を決める 【山小屋で三日間すごすなら】</p> <p>(考えを広げる話し合い)</p> <ul style="list-style-type: none"> 互いの考えを認め合い、全員で出し合う。 出された考えを、仲間分けて整理する。 <p>(考えをまとめる話し合い)</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的に沿って、大事なことの順番を考える。 より多くの人が大事だと考えたものを選ぶ。 <p>役割に応じて話し合う 【はんで意見をまとめよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いの目的や進め方、自分の役割。どうやって決めるのか。 友達の考えと同じところ、違うところ。 	<p>話すときの姿勢を意識すること</p> <p>場に応じ、言葉の抑揚や強弱、間を考えること</p> <p>「～に付け足すと～。」 「～と同じです。(少し違います)が、～。」 「～に質問ですが、～。」</p>	<p>話の中心を(メモして)聞き取る。</p> <p>分からなければ聞き返す。</p> <p>「～のところが分かりません。」</p>
4年	<p>聞きながらメモを取るときは 【聞き取りメモのくふう】</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要なことは何かを考え、大事な言葉を書く。 短い言葉で書く、記号を使う、箇条書きにするなどして、すばやく書く。 聞き取れなかったことは、後で質問できるように印をしたり、書くところを空けておいたりする。 話が終わったら、すぐにメモを読み返し、書き足すなどして整理する。 <p>調べたことを発表する。 【調べて話そう、生活調査隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> 声の大きさや速さ、強弱、間の取り方に気を付けて、大事なことが伝わるように話す。 表やグラフなどの資料を見せながら、聞く人に分かりやすく話す。 	<p>自分とは違う立場になって考える 【あなたなら、どう言う】</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの立場や、その人が何を知っているかによって、感じることや考えることは違ってくる。 自分がどう思うかだけでなく、もしその人の立場だったらどう思うのか考える。 <p>役割を意識しながら話し合う 【クラスみんなで決めるには】</p> <p>〈司会グループの役割〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの参加者の意見が出るように、工夫して進行する。 出された意見や、どうやって決めるかななどを、黒板などで整理して示す。 <p>〈参加者の役割〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の立場を明らかにして、積極的に発言したり質問したりする。 	<p>話の内容の共通点や相違点を考えること</p> <p>「～と同じです。(少し違います)が、～。」 「～に質問ですが、～。」 「AとBをまとめると～。」</p>	
5年	<p>「きくこと」で理解し合う(尋ねるとき) 【きいて、きいて、きいてみよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ききたいことをはっきりさせて、話の流れに沿って質問する。 相手の意図を捉えて、話の要点をまとめたり、内容を確認したりする。(質問に答えるとき) その質問から、相手は何を知りたいのかを考えて話す。 質問の意図が分からなければ、尋ね返し、確認する。(話の記録をまとめるとき) やり取りを正確に聞いて、要点をメモに取る。 <p>説得力のある提案をする 【提案しよう、言葉とわたしたち】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の体験や調べた事実など、具体的な理由を入れて話す。 事実と感想、意見を区別して話す。 提案内容や図表などを資料にまとめて、提示する。 多様な相手に対して様々な事柄を適切な言葉づかいで話す。 	<p>二つの立場から考える 【どちらを選びますか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 互いに理由をたくさん挙げ、質疑応答を通して二つの立場の違いをはっきりさせる。 お互いの意見の良いところや問題点を比べることで、どちらの考え方に説得力があるかを考える。 <p>立場の違いを明確にして、計画的に話し合う。 【よりよい学校生活のために】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や条件、進行計画に沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりする。 質問を通して互いの考えをよく聞き、共通点や異なる点を明らかにさせる。 立場や考え方が違う人同士で話し合うと、新たな解決方法が見つかることがある。 	<p>速さ、間の置き方を考えて話す。</p> <p>声を相手に届けることを意識して話す。</p> <p>目的や場に合った相手との話し方や言葉遣いを考える。</p> <p>自分の意図をはっきりさせて根拠を明らかにして話す。</p> <p>「A と B をまとめると～。」 「～に付け加えると～です。」 「詳しく言うと～。」 「だから～。」</p>	<p>話し手の意図を、根拠を明らかにして捉える。</p> <p>事実と感想、意見との関係を考えながら話の内容を正確に聞き取る。</p> <p>「はい。」 「～について詳しく話してください。」 「～のところがわかりません。もう一度話してください。」</p>
6年	<p>聞いて、考えを深める 【聞いて、考えを深めよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し手が目的や話題に沿って意見を述べ、その理由や事例として適切なものを挙げているかどうかを確かめる。 自分の考えと比べる。共感したり納得したりできる点を取り入れるなどして、考えを深める。 <p>資料を使って、自分の考えや思いを効果的に伝える。 【今、私は、ばくは、】</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞き手の知識や興味関心に合わせて、資料を考える。 情報を絞ったり、図表を使ったりして、効果的な資料を作る。 聞き手の反応を確かめながら、話し方や表現を工夫する。 多様な相手に対して様々な事柄を適切な言葉づかいで話す。 	<p>いろいろな考え方を聞いて、自分の考えに生かす 【いちばん大事なものは】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人によって考え方は違う。その人がなぜそのように考えるのか、理由や背景を理解する。 他の人と思いや考えを交流することで、自分の考えを広げたり、深めたり、新しい視点を見つたりする。 <p>目的や条件に応じて、計画的に話し合う 【みんなで楽しく過ごすために】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や条件を確かめる。 自分の主張や理由、根拠を明らかにして話し合いに臨む。 互いの考えをよく聞き、問題点を見つける。 考えを広げる話し合いと、まとめる話し合いを繰り返して、結論に向かう。 	<p>相手が聞いてくれるように工夫して話す。</p> <p>自分の視線を意識して話す。</p> <p>自分の意図だけでなく、相手の意図も意識しながら話す。</p> <p>「～と同感なのですが～。」 「A と B の考えから～。」 「みんなの考えから～。」 「言い換えると、～。」 「例えると～。」 「質問ですが～。」 「私は～だからです。」</p>	<p>人の事を尊重して聞く。(意見の主張、考えの訂正)</p> <p>真実と意見を区別して聞き分けるようにする。</p> <p>つながりがある話し合いができるようにする。</p> <p>話の内容や目的、意図、自分に伝えたいこと、共に考えたいことを聞き取る。</p> <p>「もう一度説明してください。」 「もう少し考えさせてください。」</p>